

科目名	生活支援看護学特論	
科目責任者	岡田 なぎさ	(基礎看護学 准教授)
担当者	中富 満城	(人間情報科学 准教授)
担当者	岡田 亮	(人間情報科学 准教授)
開講時期: 1年次前学期	単位数: 2 単位	時間数: 90分× 15 回
● 科目の教育目標 一般目標 (GIO) あらゆる健康レベルにある人々の生活の質を高めるケアを提供するために、看護技術の科学的根拠を探究する方法が理解でき、生活支援のあり方を創造的・先駆的に探究して知識を蓄え、看護実践に応用できるようにする。 行動目標 (SBOs) 1) 看護実践と看護技術の関連について説明できる。 2) 看護技術の概念(構造、実践との関連等)を説明できる。 3) 看護技術の科学性を追求する方法を説明できる。 4) 看護技術と人間工学の関連を説明できる。 5) ヘルスアセスメントと生活支援の関連を説明できる。 6) 日常生活行動と健康との関わりについて説明できる。 7) 看護実践の裏付けとなる看護理論を読み解き、実践活用を検討する。 8) 看護技術開発研究の動向を説明できる。		
● 評価方法	討議への参加 20%、プレゼンテーション 40%、課題レポート 40%	
● 参考文献	適宜紹介をする。	

● 授業計画

回	項目	内容	担当教員
1	看護実践と看護技術との関連	看護実践とは、看護実践の構造、看護技術との関連	岡田(な)
2・3	看護技術と生活支援との関連	看護技術と生活支援との関連を整理する	岡田(な)
4・5	看護技術とマネジメント	看護技術をマネジメントできる能力を育成するための基礎知識と活用方法を追及する	岡田(な)
6～8	看護技術とボディメカニクス	看護技術を人間工学の視点から捉え、生活支援との関連を追求する	中富 岡田(亮)
9・10	看護理論と看護実践の関連	看護実践と看護理論の関連を探求し、実践への活用を検討する	岡田(な)
11・12	看護理論と看護実践の探求	在宅ケアにおける看護実践と看護理論の関連を探求し、実践への活用を検討する	岡田(な)
13	在宅ケア技術と看護理論	在宅ケア技術の基盤となる看護理論を検討し、実践に活用できる	岡田(な)
14	看護技術開発研究の動向	看護技術開発に関連する文献の精読	岡田(な)
15	学習のまとめ 発表	本科目における学びを整理し発表する	岡田(な)